様式第1号

事務事業評価表(一般事業)

平成 28 評価対象年度 年度 1次評価日(主幹等) 29 年 3 月 31 日 2次評価日 (課長等) 28 年 3 月 31 日

1 事業名	豪雨災害対策事業	コード	91307

2 担当部課 部等 総務部 課等 危機管理室 作成者 小林 降志

	基本目標 自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち				
	体 系 政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	危機・防災・減災対策の推進	
3 事業概要	予算科目	豪雨災害対策事業費	業務委託	なし(直営)	
	実施義務	なし(選択的事業)	国県補助	なし	
	根拠法令	なし			

●事業の内容 (DO)

4 事業の概要等 *対象者(誰のため)、意図(どのような状態にしたいのか) 平成28年8月3日、局所的な大雨に伴い土砂災害警戒情報が発表される中、市内の数箇所で 事業の概要 発生した土砂崩落等による被災者等への応急対策を実施した。 対象者 市民 目 的 状態の復旧 意 义

5 事業の実施内容

*27年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

- ①被害状況
 - 間下教員住宅南西側法面崩落
 - ・オリンパス敷地東側 石積崩落
 - ・やまびこ国際スケートセンター南側駐車場法面崩落
- ②避難情報

46世帯·95人 避難勧告

山手町二丁目20番の一部・21番・22番の一部

山下町二丁目18番の一部・19番の一部

山下町二丁目間下教員住宅1号棟・2号棟(26世帯42人)

避難準備 30世帯·52人

山手町二丁目21番の一部

山下町二丁目18番の一部・21番の一部(4世帯・10人)

山下町二丁目間下教員住宅1号棟・2号棟(26世帯42人)

設置:平成28年 8月 3日 午後 9時40分 閉鎖:平成28年 8月 6日 午後 5時00分 ③災害対策本部

(以降、警戒対策本部を設置。8月10日午後5時30分閉鎖)

- ④避難所開設 間下区民センター
- ⑤関係機関等との連携 諏訪広域消防本部、消防団、警察など
- ⑥被災者等支援 食糧の手配、毛布・寝具の提供等
- ⑦被害状況 大規模半壊 1 棟(山下町二丁目)

前年度の課題への

対応

なし

6	指	標の達成状況	*活動指標:この事業の規模、成果指標:この事業によって得られる住民の満足度				
	区 分		26年度	27年度	28年度	29年	丰度 (予算)
	① 活動指標(指標名)		関係機関派遣延べ日	∃数		単位	日
		実績値			8		
		* 指標の説明	<mark>明</mark> 対応日数				
② <mark>成果指標(指標名) 職員派遣延べ日数</mark>					単位	日	
		目標値			8		
		実績値			8		
		達成度	#DIV/0!	#VALUE!	100. 0%		
		* 指標の説明	職員派遣延べ日数				
		*目標値の設定方法の説明					

7 ア) コストの推移 *この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

	区 分	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
1	直接事業費	0	0	680, 353	0
	経常経費			0	
	臨時的経費			680, 353	
	* 臨時的経費の説明	当赶旦费 燃料费 1	全编费 尖執水费 役		丰 永汀

Г		区 分	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
2)人件費		0	0	1, 600, 000	0
	正規職	員の人数(人)			0. 20	
(3	合計コ	スト (1+2)	0	0	2, 280, 353	0
	前年度	比		#DIV/0!	#DIV/0!	0. 0%
	財源	一般財源	0	0	2, 280, 353	0
	内訳	特定財源		0	0	
	* 特定	財源の説明				
4	〕活動一	単位あたりコスト	#DIV/0!	#VALUE!	200, 000	
	前年度	比		#VALUE!	#VALUE!	
6	コスト	に関する補足説明				

イ)補助金負担金の状況

[単位:件、円、%]

[単位:円]

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金	合計金額	0	0	0	0
等合計金額及び割合	割合	#DIV/0!	#DIV/0!	0. 00%	#DIV/0!

^{*} 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8	妥	当性評価 *妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。 妥当性	高	<u>い</u>
		評価項目	はい	いいえ
	1	現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
	2	民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
	3	民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
	4	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
	(5)	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9	有効性評価 * 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。 有効性	<u>#VALUE!</u>	
	評価項目	はい	いいえ
	① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
	② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
	③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
	④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 #VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度 100.0%	1	

●改善の内容 (ACTION)

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針 28年度末廃止・完了・統合 見込み	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	
--------------------------------	-------------------------------------------	--